

No.638

12令和4年月号

法音

日蓮宗
法音寺

今月のご法話

人のためになる生き方をしましょう

勇猛精進

まこと
至誠

今日一日

奉仕の心がけで働きましょう

今日一日

人を喜ばせるように働きましょう

今日一日

たゆまず続けてゆきましょう

月刊・法音 令和4年12月号 No.638 目次

【信仰の指針】忍土にんど 人生は修養の道場と心得ましょう 1
【朝のこない夜はない】 人のためになる生き方をしましょう 山首 鈴木正修 2

- ◆ 講日のご案内 19
- ◆ 有縁の支院・布教所にて、ご自由にご参詣ください 20
- ◆ 全山一斉清掃奉仕コメント 22
- ◆ 本山リモート中継 報恩唱題行のお知らせ 26
- ◆ 仏教漫画『日蓮さま』・⑨ 始動 27
- ◆ 最初のお弟子・日昭 35
- ◆ お寺の本棚 36
- ◆ 常寂光土への誘い(5) 38
- ◆ のりのね体験 42
- ◆ 支院だより・御法推進全国大会・計報 44
- ◆ 福祉のひろば 65
- 幸せのお手伝い 66
- 昭徳会・交流も深められた内定式 68
- 日本福祉大学・リカレント教育事業のご紹介 70
- ◆ 賛助員ご芳名 72
- ◆ 幸せの種まき／編集後記 76
- ◆ 連載まんが・ひまわり・119 希望の紙ヒコーキ 77
- ◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 77

表紙題字 山首上人さま書

掲載写真 表紙・信仰の指針 3～19頁・梅田雅臣氏撮影
2頁・加納将人氏撮影

表紙写真・ポインセチア

信仰の指針

にんご

忍土

人生は修養の道場と

心得ましよう

日教五



ブーゲンビリア



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

人のためになる

生き方をしましろう

ほうおんじ 法音寺の始祖・杉山辰子先生は大予言者であり大霊能者でありました。一番有名な予言は関東大震災に関するものです。杉山先生は大正10年頃から大震災の来ることを予言されていました。しかし、これを世間に知らせることは法律によって禁じられていました。どうかしなければと悩んでおられる内に一年二年が経ちました。大正12年の夏、新聞記者を招いて相談をされましたが、皆口をそろえて「この予言を世間に発表することは不可能です」と言います。杉山先生は施すべき術なく、8月16日、帰名されることとなりました。品川駅から（当時の）東京市を仰ぎ見て嘆息され、目前に迫る大震災を予知し



ながら、未然にこれを防ぐことのできない我が身を嘆かれ、市民にお詫びの遙拝をされて泣く泣く名古屋に帰られたのでした。

果せるかな、9月1日午前11時58分、未曾有の大震災が首都東京を襲い、市街地は大火災となり、生地獄と化したのです。但し、先年、杉山先生が妙法の守り札を張り廻らされた芝区と麻布区の損害の少なかつたことは、不幸中の幸いでありました。

死者は10万人を超え、避難民は次々と他県にのがれ出ました。愛知県も例外ではなく、杉山先生は名古屋駅に仏教化救済会救済所を設け、毎日炊き出し、味噌汁等のご接待をされました。これは二カ月以上にわたって続けられました。また、名古屋港より米、その他食料品を送り、芝浦から荷揚げして罹災民に配布されました。さらに、死者三万人以上を出した陸軍被服廠跡にバラックの建物を造り、世人の覚醒を促さんとして法華三部経と



にちれんしようにん
日蓮聖人の御一代記の書かれた小冊子『世界の鏡』を市
民に施されました。

次のような話もあります。

浅野妙恵さんという方の話です。

「私は六歳の甥、義寛と一緒に杉山先生のお伴をして、
大阪にも東京にも度々行きました。ある時、大阪に行く
予定が、都合で私は翌朝でなくては出かけられないこと
になったので、そのことを先生に申し上げますと、先生
は、『明日の朝の汽車で行かれると災難がありますよ』
と言われました。

『災難とはどんなことでしょうか』とお聞きしますと、
『汽車が衝突するかもしれません』と仰いました。私は
『一度その災難に遭ってみようと思います。私と義寛と
一緒に乗って一心に妙法を唱えて行ったら死ぬようなこ
とはありませんでしょう。妙法を唱えて、少しでも小難



になるならば結構だと思えますが、いかがでしょう』とお尋ねしますと、先生は、『それならばよろしいでしょう』と仰いましたので、びくびくしながら災難のあるという汽車に乗りました。

ちょうど関ヶ原の駅のあたりでした。急に、ガツン、ガツン、ガツンと三度ばかり大きな音がしてヒヤツとしました。びっくりして外を見ますと、機関車は横倒しになり、蒸気を吹いていました。衝突したのでした。しかし不思議なことに、衝突して機関車が脱線転覆しましたけれども、乗客には一人の負傷者もなかったと、翌日の新聞を読んで聞かせてもらって初めて知りました。そんな椿事でありましたのに、一人も負傷者がなかったのは奇跡的だ、ともありました。

先生は『それはあなたと義寛さんが乗っていたからです。妙法はありがたいナモ』と言われました」

私はこの話が大好きなんです、それにしても浅野さ



人の堅固な信仰心には感服いたします。

杉山先生はご自身のことも予言しておられます。大正5、6年頃の本部の講日の折、杉山先生は驚きの発言をされました。

「私はサツキの花の咲く頃、盲目になります。これは一時的なものであると思われまので、しばらくして元通りに見えるようになると思います。これは私の過去世の大きな罪障が、一時盲目になるといふ軽報で消滅されるものです。ある時、お前はサツキの花の咲く頃、盲目になるぞ」と天耳に聞こえました。何の因果で盲目になるのですか」と私がお尋ねしますと、お前は過去世に弓の名手で、合戦の折、敵の目を射たことがある。これは数百劫の長い間盲目になるはずの罪障であるが、妙法宣布の功德により現世に軽く受けて消滅するから喜ぶがよい」と聞こえました。このような悪因で、私はしばらく



の間あいだ盲目もうもくになりませんが、お話しはなし申もうしたとおり大難だいなんが小難しょうなんで消滅しょうめつするのですから、私わたくしが目めが見みえなくなつたからといつて、決して妙法みょうほうを疑うたがつてはいけませんぞ」

果はたして、杉山すぎやま先生の目めは、サツキの花はなの咲さく5月頃がつごろ、全く見みえなくなりました。しかし、杉山すぎやま先生せんせいは休やすむことなく、人ひとに手てを引ひかれて法座ほうざや信者しんじやさんの教化きやうけに出でかけられました。そして三カ月程げつほどで一人ひとりで歩あるけるようになり、一年半程ねんはんほどで元通りもとどおりに回復かいふくされました。

このお話しはなしは前世ぜんせいからの因縁いんねん因果いんぐわを説とかれたお話はなしです。もう一つ紹介しょうかいします。

東京支部とうきょうしぶが設立せつりつされて間まもない頃ころのことです。子宮外しきゅうががい妊娠にんしんですぐに手術しゆじゆつをしなければならぬが、そのお金かねもないと困こまり果はてて来こられた夫婦ふうふに対して、杉山すぎやま先生せんせいは神通力つうりきで前世ぜんせいの因果いんぐわを見抜みぬかれ言いわれました。「今いま、奥さんおくさんに宿やどっている子こは仇敵きうてきとも言いうべき魂たましいを持も



っています。しかし、妙法はありがたいものです。その仇敵の魂を成仏するようなご供養をして、その魂を去らしめ、有徳の魂と入れ替えることができると思います。妙法によって蘇らせる方法をとられてはいかがですか」

杉山先生とこの夫婦の積善の結果、月満ちて功德があらわれ、奥さんは安産で男の子を生むことができたのです。

これが胎内教育、魂の入れ替えの始まりです。

このように杉山先生は三世（前世・今生・来世）を透徹して見通されましたが、アメリカにもエドガー・ケイシーという稀代の超能力者がいました。ケイシーは1877年に生まれ、1945年に亡くなっています。ケンタッキー州の貧しい農家の生まれです。21歳の時に喉頭炎になって声が出なくなりました。その時にレインという催眠術師に催眠術をかけてもらって、喉頭炎が治りま



した。それから不思議なことが起きました。催眠状態に入っている時に病人のことを聞かれると、その病人の肉体の状況を透視し、治療法を明らかにすることができるようになったのです。人はいつしかケイシーのことを「眠れる預言者」と呼ぶようになりました。

肉体の状況を透視することをフィジカルリーディング（肉体的解読）と言います。もう一つケイシーには人の前世の業（カルマ）を見抜く能力がありました。これをライフリーディング（運命解読）と言います。ある人の前世のことを指摘し、今世でこういう生活をする、今世の運命が好転する。また来世も良くなるということを行いました。前世の因縁を語るわけですが、これはキリスト教世界では珍しいことだそうです。3万人以上の人がケイシーリーディングを受けています。その記録はヴァージニアビーチというところにあるエドガー・ケイシー啓発協会という所に残っており、いつでも見ることが



できるそうです。

一つ有名な話を紹介します。

アラバマ州のセルマのある少女が精神錯乱状態になり、精神病院に入れられました。どうにかして治したいと思った両親がケイシーのところにご相談にきました。ケイシーはいつものように横になって催眠状態に入りました。両親が少女の名前を言って「精神の状態がおかしいです」と相談すると、ケイシーは透視をして「この女の子の歯茎に親知らずが一本食い込んでいます。それが脳神経を侵している。この歯を抜けば、この子はすぐに正常に戻る」と言いました。その後、歯を抜くとすぐに少女は正常な状態に戻ったということです。

また遠隔透視もできました。ケイシーは国内はもちろん、アメリカにいながら、国外にいる人のことも透視できたそうです。例えば対象が私だったとすると、



「鈴木さん、今日そちらは風が強いですね」とか、「あなたの横には誰々がいて、あなたの病いが治ることを祈っていますね」などと言い当てたといひます。それによつてケイシーの透視の眞実性が増したということです。

このようなケイシーの透視能力が次第に知られるようになるのと金儲けに利用しようという者が現れてきました。「競馬の勝馬を教えてください」という者がいました。これは成功もするけれど、失敗もするといふ結果でした。普通の予想屋と変わらない程度でした。そういう時は催眠状態から目覚めた時にとても疲れていたそうです。エネルギーを消耗して、自分自身にとても不快感が残ったそうです。

また「テキサスで石油事業をやらなにか」といふ話もありました。「油田のありかを透視してくれ」といふのです。これは全く良い結果を得られませんでした。結果的にケイシーはこつこつという透視をすると、不確かであると



同時に、すごく疲れることがわかりました。自分の能力は人を助ける時にだけ、確実に信頼するに足る。金儲けを目的とした時には力を発揮しない〃と実感したとい
います。

この話から私は思います。世の中にはお金儲けを一生懸命にする人がいますが、利己的にお金儲けをすること
を神仏は喜ばれないのではないでしょうか。

ケイシーはライフリーディング（運命解読）を自分自身にも行いました。彼は、数百年前はエジプトに住んでいて、神秘的な力を持つ位の高い僧侶だったそうです。
しかし、自我が強くて官能的であったため、身の破滅を招いたということ
です。その後はペルシャに生まれ、内科のお医者さんでした。その時、戦争で負傷して砂漠に置き去りにされました。食べるものもなく、水もなく、三日三晩肉体的苦痛の中にいました。その時に肉体から意識を解放しようと懸命に努力をしました。このことが



肉体から意識を解放する能力を今世で持つ基礎になったと言っています。前世での経験が今に生きているということですよ。また現世は一種の修行であるといえます。「自分は特別な能力を身につけてこの世にやってきた。この世で自己を捨てて人類に奉仕をするという機会を与えられた。これは今世での修行である」と言い、「過去の罪障消滅である」とも言っています。

ケイシーの時代に、ニューヨークで有名な人気作曲家がいました。この人が「前世のことを見てほしい」と言っていて、ケイシーが催眠状態に入りました。ケイシーは「あなたの一番近い前世では、ニューヨークで音楽の先生をしていました。それより前は、ドイツで楽器職人をしていました。もっと以前の前世では、カルディアという国でネブカドネザル王の宮廷道化師をしていました。その前はアトランティス人で、エジプトに行き、神殿の



楽士がくしでした。そういうようなことが生いかされて、今世こんぜで音楽家おんがくかとして成功せいこうしているのです。あなたの話はなが、非常ひじょうにユーモアユーモアがあつて人ひとに好すかれるのは宮廷道化師きやうていどうけしだったことが生いかされているのです」と言いいました。

転職てんしやくの相談そうだんを受うけた時ときにはケイシーはよく次つぎのように言いつたそうです。

「前世ぜんせいであなたが直なおさなければならなかつた性格せいかくや、変かえなければならぬ運命うんめいを、今世こんぜでその困難こんなんな仕事しごとを克服くふくすることによって成なしとげていくのです。これは学まなびです。だから今いまの仕事しごとが嫌いやだからと言いつて、簡単かんたんに転職てんしやくしてはいけません」

つまり、今世こんぜは修行しゆぎやうだということですよ。

ケイシーは過去世かこせいのことがわかる理由りゆうを説明せつめいしていません。

「私わたしは依頼者いらいしやの無意識むいしきの心こころの中なかに入はいっていける。だから



その人の過去の情報がすべてわかる。またアカシックレコードというものが宇宙にはある。ここには宇宙が始まって以来のすべての情報がある。そこに接触すると、あらゆる情報がわかる。目が覚めている時は何もわからなけれども、催眠状態になると、そのアカシックレコードに接触していろいろな情報を手にいれることができる」

また、ケイシーはこんなことも言っています。

「人間の苦しみ、悲しみには必ず原因がある。人はまた通りのものを刈り取るのだ。だから原因が消滅すれば、必ず病気も治り、運命も変わっていくのだ」

仏教の因果の二法そのものだと思います。

最後に、ケイシーが常に言っていたことは、「他人に對する奉仕は、神への最高の奉仕である」ということでした。

ある時、多面的な才能を持った13歳の少年がケイシーに聞いてきました。



「将来しょうらいという職業しよくぎょうを選えらんだらいいですか。僕ぼくは大人おとなになつて経済けいざい的に一番成功ばんせいこうするには、僕ぼくのどの素質そしつに従したがつたらよいでしょうか」

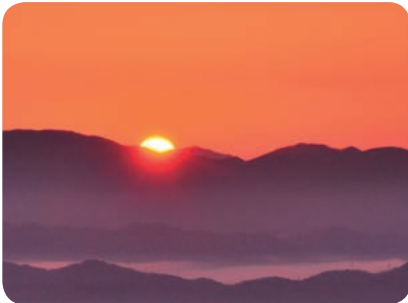
ケイシーは次つぎのように答こたえました。

「経済けいざい面のことは忘わすれて、世界せかいを住すみ良いところにするために、一番役立ばんやくだつ方法ほうほうは何なんであるかを考かんがえなさい。単たんに報酬ほうしゅう目当めあてのことは、決けつしてしてはなりません。金銭きんせん上の利益りえきは、その人ひとが自じ分の才能さいのうを人ひとのためになる方面ほうめんへ使つかえば、結果けつかとして必かならず得えられるものです」

また、ある貿易商ぼうえきしょうにはこう勧告かんこくしました。

「人々ひとびとへの奉仕ほうしをモットーにしなさい。あなたと縁えんのある人々ひとびとが、あなたによつて利益りえきを受うけるようにして、決けつして彼らかれを踏ふみ石いしとして利用りようするようなことがあつてはいけません」

ケイシーの人生哲学じんせいてつがくは、法華經ほけきやうの教おしえに通つうずるのではないかと私わたくしは思おもいました。



最後に、ケイシーはこの世を修行の場であると言っています。杉山先生も『人界は保釈』というご法話で次のように言っておられます。

「保釈出獄者は謹慎して、行いを正しくせねばならぬのであります。保釈にて人界に生を受けたる者も、自分の保釈なる所以を悟り、行いを慎み、善根功德を積めば、必ず罪業は次第に消滅して青天白日となり、幸福が来るのであります」

「皆さん、我が身の保釈なることを悟られ、油断をせず、妙法の修養に努力してください。必ず世間の大難をも救うことができます。この悟りこそ、実に一生の幸・不幸の分岐点であります。これを悟りてこそ、尊き人生を全く有意義に暮らすことができますのであります」



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

明川支院	12月3日(土)	坂支院	12月11日(日)
西春支院	12月12日(月)	岡山支院	12月18日(日)
亀岡布教所	12月25日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	4日・10日・24日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	8日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・18日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	4日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	3日・24日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・11日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・24日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・25日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	3日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	11日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	4日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	10日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)4210175
岡山支院	4日・7日・18日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)26210818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	4日・18日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	10日・18日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)6215087
安芸津支院	3日・18日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)4514012
坂支院	11日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	4日・15日・18日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)4415445
筑後布教所	11日・25日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)5317273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)5810742
田川支院	11日・25日	田川市春日町7-30	☎(0947)4211819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・24日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)8516860
亀岡布教所	12日・25日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)2517807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

青少年育成委員会主催

『2022年 全山一斉清掃奉仕コメント』

全国の各支院や布教所で、近隣の落葉集めや清掃を行いました。



普段お世話になっているお寺へ感謝をもって奉仕しました



清掃を通して、自分の心を綺麗にすることができました



お徳を積む楽しさを
実感していただく
ことができました



ご先祖様に感謝を伝えて
清掃しました



子どもたちに奉仕の喜びを
伝えながら行いました

支院にご理解とご協力を頂いている
地域の方々にお礼の気持ちで
ご奉仕しました



お寺に親しみをもってほしい…

綺麗な環境は
争いごとを
無くします



「お徳を積む」を意識して
活動しました



老人ホームの方々に
喜んでいただきたい



掃除を通して、小さな気づき
持てるようになって欲しいです



清掃を通して、参加者の繋がりを
一層深めることができました



奉仕で感謝の心を養いました



日頃の恩返しの気持ちと、
無事故を祈念しながら
清掃しました



清掃を通して、
近所の方々にお寺の存在を
知っていただく機会にしたい



願わくは此の功德を以て普く一切に及ぼし

我等と衆生と皆共に仏道を成ぜん

本山リモート中継

報恩唱題行

開催日

令和四年十二月十八日（日）

（顕修院日達上人御祥月命日）

午後一時三十分より



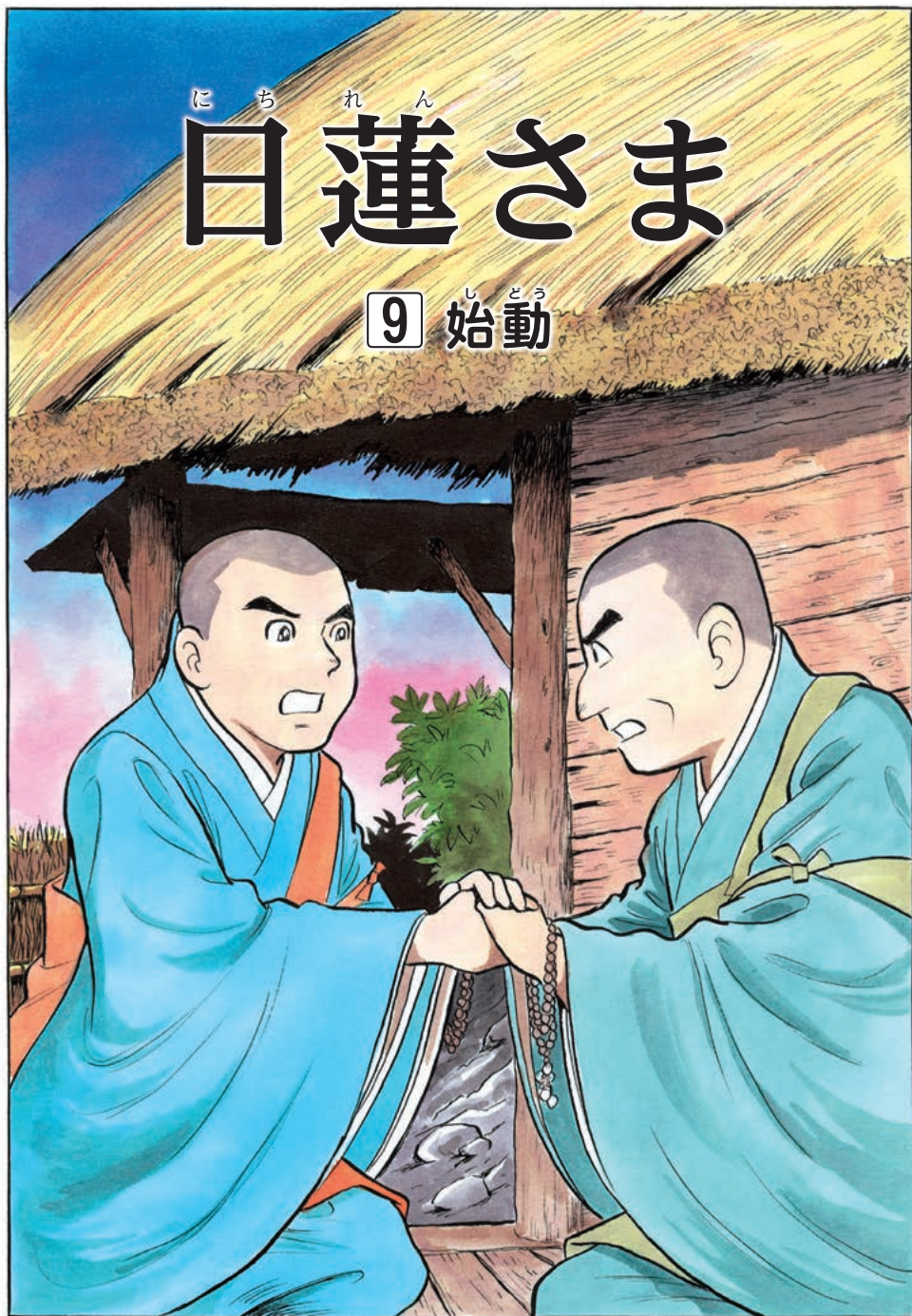
報恩唱題行
YouTube QRコード



※詳細は本山・各支院・布教所にお問い合わせください

に ち れ ん
日蓮さま

9 始動



鎌倉



どげどげ
道をあける

どかぬか!

この地に
遊学したのも
もう12年前か

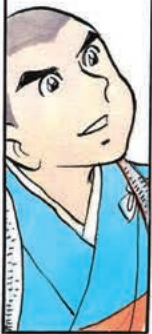


世はますます
乱れるばかり
法華経を早く
人々に伝え
なければ...

鎌倉 松葉ヶ谷



ここに草庵を
作り道場と
しよう



比叡山
ひえいざん



ここに仏道を成就せんと修行する
ひとりの僧侶がいました

学頭
がくとう
質問があります

成弁
せいべん

慈覚大師の仏教解釈に
矛盾するところがありますが…

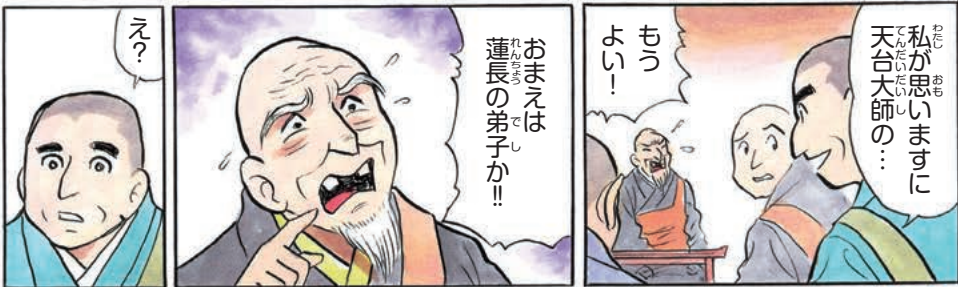


私がおもいますに
天台大師の…

もう
よい!

おまえは
蓮長の弟子か!!

え?



蓮長とは
だれですか

以前おまと同じように
慈覚大師の仏教解釈の
矛盾を指摘した
僧侶がいたのだ

へえ 私と同じ
考えを持った
お方が…

ぜひお会いして
みたいものだ



鎌倉 松葉ヶ谷

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經



松葉ヶ谷に
不思議な法師が
いると噂を聞いて
来たんだが

聞いたことが
ねえ念仏
じゃな

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經



皆さん
よう おいで
ください



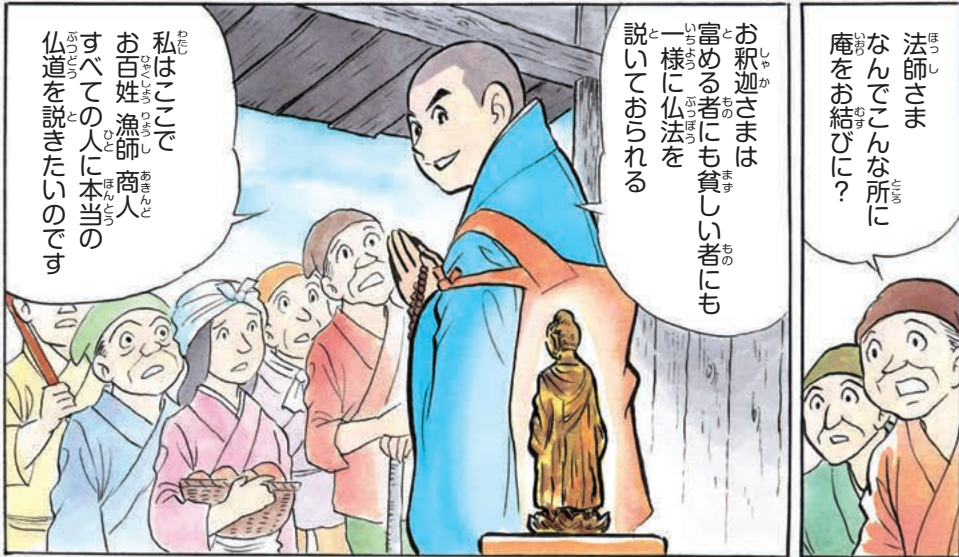
拙僧 比叡で学び
この地をお借り
しました修行僧の
日蓮と申します



法師さま
なんでこんな所に
庵をお結びに？

お釈迦さまは
富める者にも貧しい者にも
一様に仏法を
説いておられる

私はここで
お百姓 漁師 商人
すべての人に本当の
仏道を説きたいのです





ごめん

蓮長どのの
庵はごちうぐ
しょうか

はい



以前蓮長と名のつて
おりましたが今は
日蓮と申します

あなたが
蓮長どの…失敬
日蓮どの

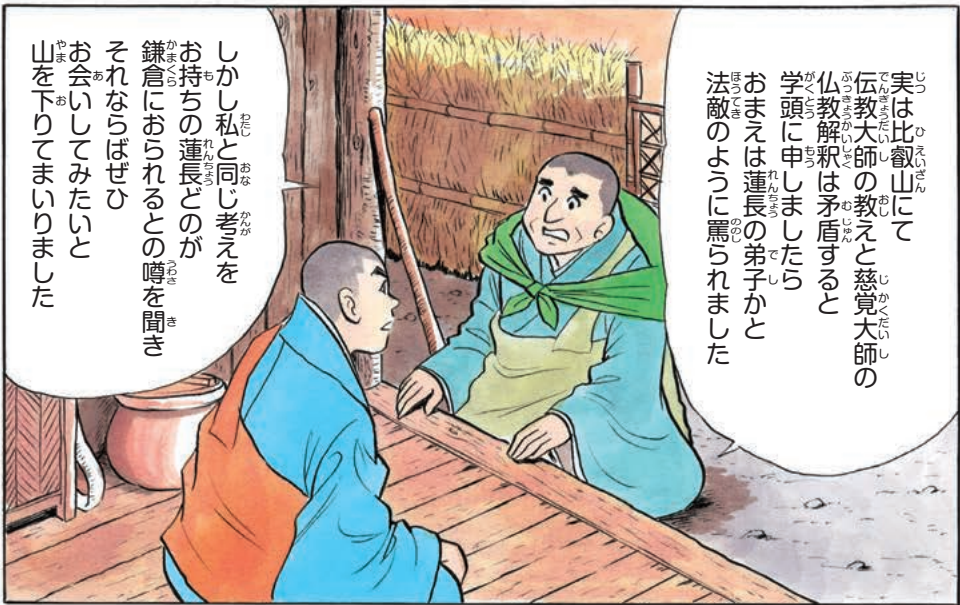


私は
成弁と申します



私に何か
ご用ですか

実は比叡山にて
伝教大師の教えと慈覚大師の
仏教解釈は矛盾すると
学頭に申しましたら
おまえは蓮長の弟子かと
法敵のように罵られました



しかし私と同じ考えを
お持ちの蓮長どのが
鎌倉におられるとの噂を聞き
それならばぜひ
お会いしてみたいと
山を下りてまいりました

そうでしたか

私一人ではなかったのだ

ご教化にあずかり
とついでにいます

わかりました
じっくりとお話し
いたしましょう



積尊の御心とは
法華経であり
法華経を修行して
仏となること

そして
私どもの役目は
末法の世に
法華経を広めて
いくこと
それがすべてと
考えます



ああ
日蓮どのに
お会いできて
本当に良かった

目の前がパッと
明るくなったような
思いがいたします

お願いでございます
どうぞ私をあなたさまの
弟子にしてくださいませ

お待ちください
あなたの方が私より
学問も深く年長者では
ありませんか





どうか私に力を貸してください

私の方こそ成井どのに
出会えて百万人の味方を
得た思いがいたします



いいえ信仰に
上下はありません

日蓮さまの法第
としてごまでも
従ってまいります



祐昭と
申します

お父上の名は
なんと…



力の限り勤めて
まいります

心を改めた証に
法名をいただけ
ませぬか



お父上の昭を
いただき
日昭と
法名を授けます

ありがとうございます
ございませす
生涯お仕えし
法華経を世に
広めるお手伝いを
いたします



今日本中に広まっている
他の宗派は釈尊の
真意を知らず…

必ずや
法華経を
奪おうと
するでしょう



あなたにとても
大切なお願いが
あります

法華経を読んでいくと
末法の世にこの経を
広めようとすれば
怒りを買ひ
首を切られるという
ような目に遭うと
書かれています



その者達と私は
戦っていかねば
なりません
相手は多勢
私はただ一人で
あります



私が大軍と一戦交えようと
あなたは私の後を追っては
なりません

長生きをして
世を建て直す
ことこそ大いなる
忠義ですぞ

これはあなただからこそ
お願いするのです
よろしく頼みます



わかりました
妙法のため
困難を忍び
必ずや仰せの如くに
いたしますので
ご安心ください



我等仏を敬信して
當に忍辱の鏡を著るべし
是の經を説かんが為の故に
此の諸の難事を忍ばん
我身を愛せず
但無上道を惜む

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

最初のお弟子・日昭

松葉ヶ谷は建長5年（1253）から文永8年（1271）まで日蓮聖人が暮らした場所であり、『立正安国論』もこの場所で書かれました。

草庵をつくった年の11月、一人の僧侶が訪ねてきます。

「私は比叡山にいた成弁と申します。天台・伝教・慈覚の教えに疑問を抱き、学頭に問いただしたところ、同じ疑問で比叡山を去った僧がいたことを知りました。どうしても会ってみたいと思い、ここまでやってまいりました。ぜひあなたの考えをお聞かせください」その後、成弁は日蓮聖人に「ぜひあなたの弟子にしてください」と乞います。

日蓮聖人はそれを喜び、法号を「日昭」と授け、最初の弟子としました。

日蓮聖人は日昭上人に教団を影で支える役を委ねたといえます。その後、日昭上人は日蓮聖人の活動の拠点を守り、門下を統一し、六老僧の筆頭となります。また日昭上人の親戚筋にあたる人々が次々とその後の日蓮聖人を支える重要人物となっていきます。（池上兄弟、日朗、日像は日昭上人の甥にあたります）

日蓮聖人が61歳でご入滅された後も、40年以上にわたり教団を守り続け、103歳まで生きたと伝わる日昭上人。まさに日蓮聖人の片腕ともいえる存在であったことでしょう。



お寺の本棚



『仏教感化救済会の信仰』








殺生禁断

先日、家の近くにある小川の辺りに行くと、暑さと上流にある工場の汚水のために、川の魚が苦しそうに息をしながら下流へ下流へと流されて

いた。そしてそれを捕えようと、人々が大きい手網や小さい手網を持ち出して、とても楽々とおもしろそうにすくい上げている。それを見ているうちに殺生嫌いの私もつい釣られてしまい、早速家に戻ると、隣家から手頃な手網を借りて行男（五歳）を連れて家を出ようとすると、妻が「いつも殺生嫌いのあなたがその様子は一体どうしたの。止めた方が良いのに。亡くなった母がよく言っていたよ。殺生をしちゃいけないよ、決して良いことは来やしないからと」。

こんな忠告をしてくれたが耳も貸さず、そのまま小川へ駆けつけてみると、あちこちに相当に大きな魚も浮いている。私の胸は高鳴っている。すると一匹の大きな魚が私の目の前に浮いてきた。『ヨシ』とばかりに私は手網を差し出してすくおうとした瞬間、私の側でザブーンと水音がした。驚いて見ると、行男が真っ逆さまに濁流の中へ落ちたのであった。その瞬間、電気に打たれたように私は行





男の後を追って飛び込み、グーっと抱き上げた時、あたりの人々が一斉に私の側に駆け寄ってきて、その姿に見入っていた。

川の中で行男をグーっと差し上げている私の足はみるみるうちに川底へ深く食い入って、濁水に胸のあたりまでつかってしまった。私は行男が可哀想やら、恥ずかしいやらで夢中になって、やっとの思いで岸に這い上がるやいなや、一目散に家へ戻ってきた。そして「それみなさい。よせばよかったのに、殺生なんかして良いことはありませんよ」と再び妻に言われた時は、もう二度と行くまいと思っ

た。
それ以来、たびたびその小川に魚が浮いているのを見たが、再び捕る気にはなれなかった。

「殺生はいけないことだ」

「いや、魚は人に喰われてこそ成仏するのだ」

こうした論を聞くたびに、その可否を決めるだけの蘊蓄のない私ではあるが、そんなことがあってからは何かしら「イケナイ」ような気がするようになった。

金島豊次郎〈澍徳41号昭和14年5月刊〉

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (5)

無量義經 徳行品第一

爾そのときに大莊嚴菩薩摩訶薩だいじょうごんぼさつまかさつ、遍あまねく衆しゆの坐ざして各定意おのおのじよいなるを觀かんじ已おわつて、衆中しゆちゆうの八万まんの菩薩ぼさつ摩訶薩まかさつと俱ともに、座ざより而しかも起たつて仏所ぶつしよに來詣らいけいし、頭面ずめんに足あしを礼らいし遶めぐること百千そふ市しして、天てん華げ・天香てんかうを燒散しやうさんし、天衣てんね・天璫てんとう瑠ろう・天無價宝珠てんむげほうじゆ・上空じやうかうの中なかより旋せん転てんして來下らいげし、四面めんに雲くものごとく集あはつて而しかも仏ぼつに獻たまる。天厨てんちゆう・天鉢器てんぱつぎに天百味てんみじやうまん充満ちゆうまん盈溢えいいつせる、色しきを見香みかうを聞かぐに自然ねんに飽足ほうそくす。天幢てんどう・天幡てんぱん・天軒蓋てんこんがい・天妙樂具てんみょうらくぐ、処処しよしよに安置あんちし、天てんの伎樂ぎがくを作なして仏ぼつを娛樂ごらくせしめたてまつり、即すまわち前すすんで胡跪こきし合掌がっしやうし、一心しんに俱共ともに声こえを同おなじうして、偈げを説といて讚ほめて言もつさく

その時、大莊嚴菩薩摩訶薩が大勢の人々を見渡して、人々の心が落ち着き、これからは非仏さまの教えを伺いたいという気分にいるという様子がわかりましたので、大勢の菩薩摩訶薩とともに座より起つて仏さまのお側に参り、頭を地面に着けて足下に平伏し、仏さまの周りをめぐり、帰依の心を表わし、感謝の

気持ちを表わすために美しい花を散らし、香を焚き、瓔珞や珠などを捧げ、さまざまな供物を献上し、音楽を奏して仏さまが楽しまれるよう供養しました。そうして、仏さまのみに進み出て、人々とともに声を揃え、偈を説いて讃め称えて申されました。

偈 おほ 大 かなだい なる哉 ごだい 大 だい 悟 しゅう 大 しゅう 聖 しゅ 主 しゅ 垢 く 無 な く染 ぜん なく所 しよ 着 じやく なし 天 てん ・人 にん ・象 ぞう ・馬 め の調 じょう 御 ご 師 し 道 どう 風 ふう 徳 とく 香 こう 一

切 さい に薰 くん じ 智 ち 恬 じか に情 じやう 泊 じやく に慮 りよ 凝 ねい 静 じやう なり 意 い 滅 めつ し識 しき 亡 もう して心 こころ 亦 また 寂 じやく なり 永 なが く夢 む 妄 もう の思 し 想 そう 念 ねん を断 だん

じて 復 また 諸 しよ 大 だい 陰 いん 入 にゅう 界 かい なし

仏さまが人々をお救いになるお働きが述べられています。

「大悟大聖主」 〓 「大悟」とは徹底した覚り、全ての事・物の実相を極め尽くした事を言います。「大聖主」とは、あらゆる境遇を超越したお方の事。「垢なく染なく所着なし」 〓 垢は迷いの事で、染は物に染まる事。所着は執着する事です。「天・人・象・馬の調御師」 〓 天上界・人間界の人々を教え導き、象や馬など、あらゆる動物の調御師でもあります。「道風徳香一切に薰じ」 〓 仏さまは常に正しい道を行なっていていらっしやるので感化の力が周囲に及び、その徳が自然に人々の心に染み込むのです。「智恬かに情泊かに慮凝静なり」 〓 仏さまは、自分のために何かをしようという心も、何かをしてもらいたいという心も

なく、自己中心に何かを考える事もなく、自己を一切なくした気持ちでおられますから、周囲の現象に掻き乱される事がありません。「意滅し識亡して心亦寂なり」 〓 「意」は「眼・耳・鼻・舌・身」の五官で感じた感覚をまとめて物の存在を知る事。「識」は、意より深く物・事を知り分ける働き。共に人間に普通に具わっている精神の働きであります。仏さまは、そういった外の感覚や知識から離れて、静かに澄み切った心になっておられるという事です。「永く夢妄の思想を断じて」 〓 「夢」は夢想。「妄」は妄想。仏さまは、そのような想いが少しも心に浮かぶ事はないのです。「諸大陰入界なし」 〓 「大陰入界」は「大」・「陰」・「入」・「界」の四に分けて考えます。

「大」は四大（地・水・火・風）つまり、全ての物質の事。「陰」は五陰（色・受・想・行・識）つまり、人間の心の全ての働きの事。「入」は十二入（眼・耳・鼻・舌・身・意の六根に、それぞれ色・声・香・味・触・法の作用がある事）。「界」は十八界（六根には作用と領分がありますから、先の十二入に更に六根の領分を加えたもの）。仏さまはこうした人間の生活を支配する物質世界や、それに対する凡夫の心の働きから超越しておられるというのが「諸大陰入界なし」であります。

其の身は有に非ず亦無に非ず 因に非ず縁に非ず自他に非ず 方に非ず円に非ず短長に非

ず 出しゅつに非あらず没もつに非あらず生滅しょうめつに非あらず 造ぞうに非あらず起きに非あらず為い作さに非あらず 坐ざに非あらず臥がに非あらず行住ぎょうじゅう
 に非あらず 動どうに非あらず転てんに非あらず閑静げんじょうに非あらず 進しんに非あらず退たいに非あらず安危あんきに非あらず 是ぜに非あらず非あらに非あらず
 得失とくしつに非あらず 彼ひに非あらず此しに非あらず去来こらいに非あらず 青しょうに非あらず黄わうに非あらず赤白しゃくはくに非あらず 紅くに非あらず紫種ししゅ
 種しゅの色しきに非あらず

普通の生活に見られるいろいろな区別にとらわれないという事を、さまざまな方面から示されているのであります。



ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

子どもとの関わりからの

学び

K君との付き合い

私が入職4年目の時に、年長クラスで担当したK君。好きなことにはとても集中して取り組むことができるけれど、そうでないことには集中できず、見通しを持って動くことが苦手な子でした。

私の知識や技術が不足していたこともありましたが、初めての幼児クラスで、とにかく毎日をこなすことに必死な中、どう関わっていけばいいのかわからない。どっぴりして時間に間に合わないの、と思ってしまうこともありました。

先輩保育士に相談し、アドバイスしてもらった



ことを実践するものの、なかなか改善しませんでした。すぐには変わらないと頭ではわかっていますが、焦ってしまっていたことを覚えています。K君に対してどう関わればいいのかわからないまま、彼は卒園してしまい、ずっと気になっていました。

数年後、K君がADHDの診断を受けたこと、

症状が辛い時は自分から薬を飲んでいることを上司から聞き、申し訳ないような複雑な気持ちになりました。それは、色々な研修を受けていく中で、診断名にこだわるのではなく、一人ひとりの個性に向き合っていくことが大切だと学んできました。しかし、そのように診断されたことで、K君の得意なことや苦手なことをより周りに理解してもらうことができ、どうしても落ち着かない時は、薬を飲むという対処もできるようになったのだらうと思います。

上司の勧めで『ケーキを切れない非行少年』という本を読み、頑張りたくても頑張り方がわからない子がいることを知りました。

この本を読んだ時にK君が頭に浮かびました。あの時、頑張りたいたいという気持ちがあっても、どうすればいいかわからなかったのかもしれないK

君に、自分にもっとできることがあったのではないかと後悔しています。

今後、このような子どもたちの気持ちを少しでも理解し、園生活を楽しく過ごせるよう、たくさんの方を学んでいきたいと思っています。

天王保育園 保育士 杉浦 祐羽



交流も深められた内定式



写真提供・昭徳会

令和4年10月20日、秋晴れのきれいな空の下、法音寺にて「令和5年度 採用職員内定式」が開催され、15名の内定者が出席しました。

定期的にはオンラインで内定者同士の交流を図ってきましたが、直接、内定者同士が対面することがありませんでした。そのため、最初は全員が緊張した様子でしたが、時間が経つにつれ、横に座った内定者同士で会話をする様子も見られ、和やかな雰囲気での内定式の開始を待っている姿が印象的でした。

内定式では、鈴木正修理事長（法音寺・山首上人）より「昭徳会は明治42年1月に杉山辰子先生が創立された仏教感化救済会内に、育児院がつくられたことがその淵源であります。杉山先生は仏教最高の経典である法華経に説かれる菩薩行の実践として社会福祉事業を始められました。菩薩行とは、わかりやすく言いますと、インドのマザーテレサがされたような行いです。自己の利害を超えて社会の弱者のために尽くすということです。マザーが言っておられる言葉で私が非常に印象に残っている言葉があります。それは、『どんな悲惨な境遇の人でも最後に私達の看護を受けて、この世

に生まれてきて良かったと感じてもらいたいです」という言葉です。我々に置き換えるなら、昭徳会の施設に入って本当に良かったと利用者の方々に感じていただけるようにすることです。それにはまず、皆さん一人ひとりがこれから研鑽を重ねられ、利用者の方々から『あなたに会えて良かった』と言われるような職員になっていただくことだと思います」とお言葉が贈られました。鈴木理事長のご挨拶の後、一人ひとりに内定証書が手渡されました。

内定証書授与後、内定者代表として長田孝介さん（日本福祉大学4年・名古屋養育院配属予定）より、「私達は、まもなく学生から社会人へと新たな道へ進んでいきます。この先は、福祉という社会貢献度の高い仕事に就きますが、精一杯利用者の支援を行い、自らを立派な社会人として成長させていきたいと思っております。ご指導・ご鞭撻のほど



よろしくお願いいたします」と力強く誓いの言葉が述べられました。

自己紹介では内定者一人ひとりに意気込みをスピーチしてもらいました。緊張しながらも堂々とスピーチをしており、それぞれの想いの強さを感じました。

内定式終了後は、食事が行われました。新型コロナウイルスの感染予防対策として、黙食となりましたので、昭徳会創立110周年記念映像と、配属先の施設長からのビデオメッセージを上映しました。食事後は、内定者同士の親交をより深めてもらうため、交流会を開催しました。グループワークをした後、本堂や開山堂を見学し、和気あいあいとした時間を過ごすことができました。

来年4月の入社式に、内定者の皆さんと会えることを楽しみにしています。

法人本部事務局 事務員 古田 優佳



日本福祉大学リカレント教育事業
オリジナルブランド "FUKU+（ふくたす）"

FUKU+

すべての人へ、学びをプラス。

「ふくたす」とは

日本福祉大学に蓄積した「知」を興隆するリカレント教育事業(学び)のブランドアイコンです。平仮名「ふくし」の理念を視覚に、日本福祉大学オリシティの学びを発信するべく専門職のキャリアアップはもちろん、学びの視野を広げ、すべての人に学びを届けるためのコンテンツプラットフォームを目指します。

デザインの想い

日福ブランドの「学び」が、福祉の現場における実践の力に、地域社会の課題解決や発展に、個人の成長や、日々の暮らしにプラスの効果をもたらすことを願って「ふくたす」と名付けました。大学ロゴの印象を引き継ぎつつ、斜体がかかった文字で前進する力を表現しています。

日本福祉大学なら、あなたのビジョンにマッチした、
さまざまな学びがあります。

資格取得をしたい



- 社会福祉士資格
- 精神保健福祉士資格
- 言語聴覚士資格
- 臨床心理士資格
- 公認心理師資格
- 介護福祉士資格 など

さらに学びを深めたい



- 社会福祉、医療福祉でマネジメント、心療、看護、スポーツ福祉における高度な学び
- キャリアアップ、キャリアチェンジを目指したさまざまな学び
- 教員・職員のスキルアップを目指した研修

その他 目的に合わせた様々な学び



- セカンドキャリアを考えたい
- フライベートでも生かせる知識を身につけたい
- 地域で活躍できる人になりたい
- 社会人の交流を望むしたい
- まずは少し学んでみたい など

自分に合うスタイルで学びたい



- 短時間でスポット的に学ぶ
- 4年間で体系的に学ぶ
- 教室での対面講義
- オンラインでの対面講義・オンデマンド講義 など

写真提供・日本福祉大学

リカレント教育事業のご紹介

「オンライン講座を集めたWebサイト開設のご案内」

日本福祉大学リカレント教育事業部では、学びたいすべての人に学びを届けるオンライン講座のWebサイト「FUKU+（ふくたす）」すべての人へ、学びをプラス。」を開設いたしました。

「リカレント教育」とは、職業人を中心とした社会人が知識や技術を習得するために、必要に応じて受けられる再教育システムのことです。人生100年と言われる時代の到来に加え、個人に合わせた労働環境を提供する企業が増えてきたことにより、働き方の多様性が広がっています。リカレント教育が年々注目を集めています。

本学ではこの「FUKU+（ふくたす）」で、福祉、教育、心理、健康、子育て、その他さまざまなテーマについて幅広く網羅し、学びたいすべての方にオンラインで講座をお届けします。

現在、受講を受け付けている講座の一部についてご紹介します。

【シンファミリー学級】

さまざまな人や事象との「関わり」によって、子どもは発達し、親や家族も共に育っていきます。そんな「関わり」をキーワードに、子どもの成長・家族のカタチを考える講座を揃えました。

妊娠中・出産後の家族関係の形成に興味がある方、赤ちゃんや子どもの発達・成長に興味がある方、子育てについて地域と上手に関わっていきたいと考えている方、子育て支援業務に従事する方などにおすすめます。

【伴走型支援基礎講座】

「伴走型支援」は、社会的孤立が深刻化する中で、つながり続けることを目的とした支援として重視されています。対人援助の現場において培われてきた「伴走型支援」について、求められてきた背景や大切にされる支援や哲学、政策動向など多角的に学ぶ全15回の講座です。対人援助に関心のあるすべての方におすすめます。

各講座の詳しい内容は下記Webサイトに掲載しておりますので、ご興味ある方はぜひ「FUKU+（ふくたす）」のページをご覧くださいと思います。

今回ご紹介したものの以外にも、多くの講座を企画し、「すべての人へ学びをプラス」できる事業を目指してまいります。

日本福祉大学 リカレント教育事業部 清水 淳

日本福祉大学 FUKU+

検索



幸せの種まき

柔らかな心で

物事の善い面をとらえましょう

困った局面でも、別の角度から見れば

「ありがたい」と見ることができま

心の持ちようで世界は変わります

大乗山 法音寺

編集後記

新型コロナウイルス感染症の第7波が国内では収まってきた様子ですが、専門家の間ではヨーロッパの感染推移から年末年始あたりに第8波が到来する予測する人が多いのだとか。まだまだ油断できない状況が続きます。その中で、私達はアフターコロナにも目を向けていく必要があります。

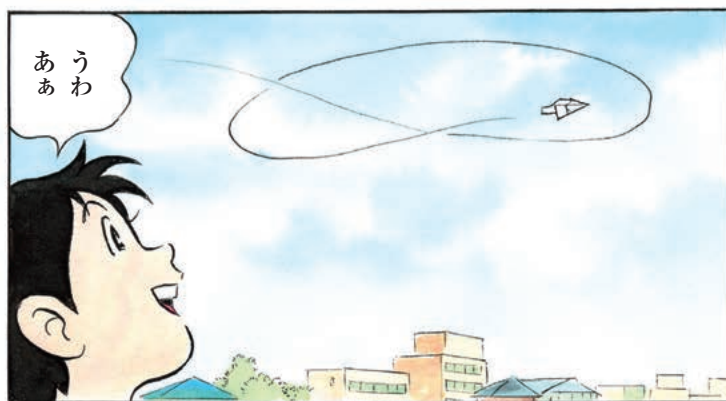
今月号では「御法推進全国大会」の記事を掲載いたしました。昨年に引き続き、御法推進全国大会は生中継で各支院（及び一部の布教所）に配信されました。特に、今年は各地で講日相当として開催されたため、多くの人々が山首上人さまのご法話とメッセージにふれることができたことは、とても喜ばしいことでした。

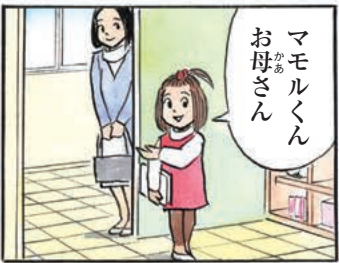
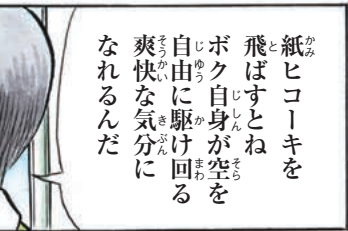
この動きはコロナ禍がなければ実現していなかったことです。新たな時代の広宣流布の方法が一つ増えたのですから、コロナ禍に感謝しなければなりません。ただし、あくまでも一つの形。どのような時代でも、人と人が向かい合って伝えることが要であることに変わりはありません。私達はこれからも三徳の教えで心を磨き、その姿に説得力がある生き方をしていきたいものです。

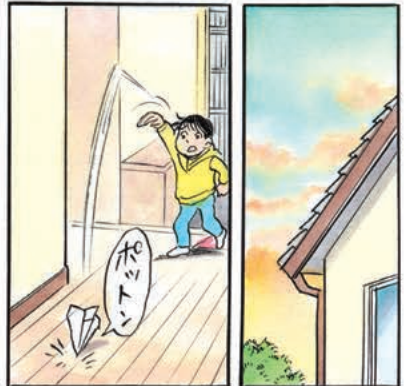


希望の紙ヒコーキ

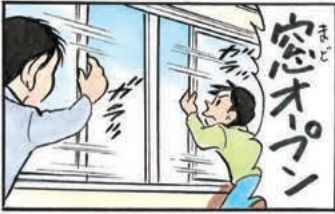
竹中 淳















ボク：
 検査だつて
 治療だつてなんだつて
 頑張つて受けるよ

だから：

ボクも
 みんなと
 一緒に思いっきり
 走り回つてみたいよ

蓮くん





おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで

毎朝7時

『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

